

平成29年度地域医療を志す中学生育成事業 医学部・看護学部体験会

8月26日、県内の中学生を対象とした、医学部・看護学部体験会がスキルスラボにて開催されました。この体験会は、医師・看護師の仕事内容やその魅力に対する理解を深め、医師・看護師を目指す中学生のすそ野の拡大を図るため、宮城県保健福祉部医療人材対策室が実施しているもので、前年度に引き続き2回目の開催となりました。

体験会では、3グループに分かれて、心音聴診（講師：加賀谷豊先生）、血圧測定（講師：宮下光令先生、高田望先生、神裕子先生、菅原明子先生、鈴木美寿穂先生）、腹腔鏡下手術手技（講師：井本博文先生）のそれぞれのブースをローテーションで回りました。

参加者の皆さんは、初めての体験ながら上手にシミュレータを操作し、非常に熱心に参加されていました。今回のスキルスラボでの体験が、参加された中学生の皆さんの将来の進路を決めるきっかけの一つになれば嬉しく思います。

